

## 細民階級の幼兒保護

内務省衛生局 野田 忠廣

子供の健康を保護する事は必要であるのは、今更事新しく言ふ迄もない事であるが、未來の強健な生産的な國民をつくる上に於て、最も肝要な事である。殊に、子供時代には、外界の種々なる刺戟に抵抗する力が弱い、此の時代の健康保護が最も大切である。

細言して見れば、子供が此の世に誕生しない前、母の暖い胎内にゐる時は、胎兒の發育に必要な要素は、母の血液から直接に受けてゐる。分娩によつて世の中に出づるや否や、寒冷な空氣は先づ第一に子供の柔い皮膚を刺戟する。又肺臟の呼吸も分娩の瞬間に始り、自ら空氣の呼吸作用も營まれる事になり、身體の榮養も母乳、已むを得ぬ事情あるものは母乳の代用に依つて養育されて行く。この分娩後年月の経過しない間が、最も子供にとつて大切な時期であり、最も危険な時期である。従つて大なる注意も此の時に最も要するわけである。

今此處に内務省に於て調査したる兒童の死亡率に

就いての統計を掲げて見よう。千に付き、零歳から滿一歳迄は二七六・一三七で、一歳から滿五歳に至るまでは一三八・一六〇であるから、前者の方が後者より遙かに多いわけである。更に細説すれば、出生から十日迄は七八・四で、十日から一ヶ月迄は三九・二、一ヶ月から滿一歳までは一四・〇五であるから、出生から年月の經ない程、死亡率は多い事になつてゐる。

之は要するに、嬰兒が如何に外界の刺戟に對して、抵抗力が少いかを示してゐる。公生兒と私生兒とに於ける死亡率を見れば、勿論私生兒の方が死亡率が多いのである。之は、私生兒を生む母親の境遇が、幸福なものがなくして、嬰兒の保護等にはとても充分な力を盡す事が出来ない境遇に置かれてゐる故、自然嬰兒に對する不注意から、私生兒に於ては死亡率が増してゐるのである。最近の統計によれば、公生兒は出産百に對して一割七分の死亡率を有してゐる。

るのに、私生児は二割五分の死亡率を有してゐるのを見て、児童保護は私生児に於てことに必要である事がわかる。

更に富豪の子供と貧民の子供とを比較して見れば、公生児と私生児の場合の如く、貧者の幼児に於て遙かに死亡率が多いのである。之は貧者の幼児は、經濟力が少い爲に充分な保護を與へる事が出来なかつたり、或ひは育児に對して充分なる智識を有してゐない爲め保護する方法をわきまへなかつたりして、とにかく富者の家庭の幼児に比られば一般に健康状態が衰へてゐる。

目下の社會状態に於て最も必要とする所は、この貧民階級の幼児保護の方法である。幸ひにも。社會事業、社會問題が、此の大戦以來盛に唱へられて來て、種々の設備がなされつゝある事は喜ばしい事であるが、外國の児童保護の諸事業に比較すれば、未だ進歩してゐないと思ふ。

先ず貧民階級の児童保護の設備としては、分娩の際安心して母親が産産にのぞむやうな産院を設立する事が第一である、之は嬰兒にも母親にも衛生的設備として缺くべからざるものと思ふ。不衛生的な分

娩が母體の健康を害し、嬰兒の發育に影響する事は大なるものである。産院の次には、乳兒を育てる乳兒院、労働者階級の母親は日毎に労働に出掛けねばならぬからその爲には託兒所も必要である。

近頃は、この方面の活動は、慈善團體、共同團體等が主としてなしてゐるやうであるのは、國家の爲め喜ばしい事と思つてゐる。同時に、諸般の設備ばかりでなく、根本的に幼児保護問題を普及しようと思ふならば、設備と同時に衛生思想を宣傳しなければならぬ。これには時々細民階級の住してゐる町に行つて、講演會を開くとか、或は小冊子のやうなものゝを配布するとかして、極めて通俗的に、然も有益な宣傳方法をしたなら、相當な效果あることと思はれる。

今や、幼兒問題は、多くの社會問題の中最も必要なものとなつて來た。子供は國家をつくる基礎であるから、健康にして、善良な子供の多くゐる國ほど、將來は其の國家が繁榮し富強になるのである。然かし經濟的組織の爲め、労働者階級、細民階級が社會に於て可成り多數を占むるやうになつたのであるから、其の方面の幼兒保護問題は、最も迫りたる重大問題である。